

はじめに

次世代を担う子どもたちが将来においてエネルギーについて適切な判断と選択を行うための基礎力を養うためには、学校教育におけるエネルギー教育の充実が有効と考えられます。

このような中、平成20年3月には、文部科学省において学習指導要領の改訂・告示がなされ、エネルギー教育に関係の深い小学校の理科では電気についての指導項目が一貫した柱となりました。この学習指導要領は平成21年度、22年度を移行期間とし、平成23年度から実施されることとなります。

中国経済産業局では、平成18年度から小学校教育におけるエネルギー教育の充実に向けた取組を展開しておりますが、本年度は、新学習指導要領と教科の学習指導案を結びつけ体系的かつ教科関連性を持たせたカリキュラム開発を行うこととしました。

本カリキュラムは、小学校の先生により構成する「エネルギー教育のためのカリキュラム検討委員会」で9回にわたる検討を行うとともに、中国地域の全小学校、有識者、教育関係者に素案を配布し、現場のご意見を十分に取り入れた上で、生活科、理科、総合的な学習の時間を軸としたエネルギー教育のためのモデルカリキュラムとして策定しておりますので、是非ともご活用いただき、エネルギー教育の普及促進につなげていただきますことを期待しております。

最後になりましたが、本カリキュラム策定にあたって御協力いただきました先生方を始め、有識者、教育関係者の方々に厚く御礼申し上げます。